

平成22年度 大台町子どもプロジェクト推進協議会 報告書

1. 大台町子どもプロジェクト推進協議会について

この協議会は大台町内に残る地域教育力を社会に還元し、地域社会の実情を伝え、もって持続可能な地域づくりに資することを目的として平成21年3月に設立されました。

構成員は大台町・大台町教育委員会・NPO 法人大杉谷自然学校・大台町観光協会・道の駅奥伊勢おおだいです。これまで体験教育、都市との交流事業、産業振興に関わってきた団体により構成されています。

2. 平成22年度受入実績 豊かな体験活動推進事業(各校2泊3日民泊有り)

大台町立三瀬谷小学校 6年生 33名

大台町立川添小学校 4～6年生 19名

参考:平成21年度受入実績 豊かな体験活動推進事業(各校2泊3日民泊有り)

大台町立三瀬谷小学校 6年生 30名・大台町立川添小学校 4～6年生 14名

大台町立日進小学校 5・6年生 47名

3. 所要経費

児童1人あたり 22,000円～27,000円(町内移動費等全て込み)

財源

・児童負担額 3,000円～4,000円

・大台町単独事業 (1/2)

・総務省子ども農山漁村交流プロジェクト特別交付税財政支援措置 (1/2)

体験活動に要した経費の一定割合(1/2)の特別交付税対象

4. プログラム例紹介

(1) ねらい

地域の主幹産業である林業に対する総合的な知識を身に付けるとともに林業の産業的側面に対する理解を深め、自分自身を見直し、職業ひいては広く社会に対して意識を持つきっかけづくりとします。

(2) 対象

三瀬谷小学校6年生33名(先生方:常時3名 活動により変化)

(3) 日時

2泊3日:平成22年7月21日(水)～23日(金)

(4) スタッフ・指導者

大杉谷自然学校:7名 専門講師:1・2名

大杉谷自然学校のスタッフが常時7名、先生方と共に子どもたちの指導にあたりました。また、民泊先にも1軒に1人自然学校のスタッフが児童とともに宿泊しました。

(5) 宿泊場所

1日目:大杉谷林間キャンプ場/バンガロー

2日目:大杉谷地区民泊/(児童4～6人とスタッフ1名が男女別に宿泊)

民泊とは法律で認可された農林漁業体験民宿のことです。農林漁家が住宅を活用して開業する小規模の民宿で、宿泊客は農林漁業体験や田舎暮らしを体験できます。

大杉谷地区には8軒の民泊が開業しています。

(6) 食事

1日目昼食:持参弁当

1日目夕食・2日目朝食:自炊(大杉谷自然学校指導)

2日目昼食:給食(食グループせせらぎ会)

2日目夕食:弁当(食グループせせらぎ会・民泊先の方と一緒に食事)

3日目朝食:自炊(民泊先の方指導)

(7) 移動車両

学校からの集合解散:スクールバス等貸切バス

3日間の内部での移動:大台町営バス(児童1回100円・大人1回300円)

(8) 内容(平成21年・平成22年度)

伝統漁法:鮎友釣り体験・川での遊泳・魚観察・食事作り・民泊体験・民泊聞き取り

地域の方との交流・間伐材クラフト・ワサビ田見学と食育体験・林業体験

(9) 活動写真(平成21年度～平成22年度写真)



オリエンテーション



夕食づくり



羽ガマで調理



配膳



朝食づくり



朝食のカートンドック



川での体験



川での体験



魚を捕って観察



魚を観察



鮎のしゃくり漁体験



鮎の友釣り体験



夕食



鮎の調理



林業体験



間伐・皮むき体験



思い出クラフト



キャンプの思い出葉書



ニジマスの養殖場見学



ワサビ田見学



ワサビの試食



民泊先での食事



民泊先での食事



民泊先での食事



民泊先での食事



民泊先での交流



民泊先での交流